

Attunity Integration Suiteによる Police Mutual Assurance Societyの顧客サービス向上



PMASとは…

170,000を超える警察官及びその家族の貯蓄や投資、抵当、年金、保険、その他金融サービスを提供する企業です。

目指したゴール

絶え間なく変化し続ける市場の需要、複雑な規定の枠組み、新製品の開発やIT技術及び人々に対する投資によって発生する金融的制限における顧客サービスの向上

ソリューション

IT部門ターミナルベースアプリケーションをWindowsアプリケーションへリプレイスする為にAISを使用しています。ユーザは大容量データや医療履歴の管理、業績の閲覧、Adabasから新システムへのデータ移行、保険料支払い問題への対処ができるようになりました。

Attunity Integration Suite (AIS)は、Adabasへのアクセス、というPolice Mutual Assurance Society's (PMAS)の非常に複雑な要件を満たすことができるので、古くて効率の悪いプロセスを新しいシステムへとリプレイスする、もしくは以前よりも効率の高い解決策を既存システムに提供することのできるPMASにとって理想的なソリューションと言えました。

PMASはASIをイントラネット及びWindowsアプリケーション両方と、OpenVMS上のAdabasデータベースを統合するのに用いています。PMASの持つシステムは、メンバーデータの閲覧、医療履歴や会社の業績に関するレポートの生成及びレポート閲覧、Adabasから新しい金融システムへのデータ移行、保険料支払いの問題を取り扱うといったことをトータルに扱うシステムでした。

“我々は革命というよりはむしろ我々の持つ資産を発展させる方法を求めていました。我々が持っているAdabasシステムを拡張させ、将来に対応させる為の生命を吹き込みみたかったのです”PMASのシステム開発マネージャであるBegins Derek Eaton氏はこのように述べています。170,000を超えるイギリスの警察官及びその家族の貯蓄や投資、抵当、年金、保険、その他金融サービスをPMASが担っているのです。PMASは1922年以来、警官に関わる何世代もの人々の金融福祉サービスを取り扱ってきました。

この業界に主要企業として、PMASは幅広い製品やサービスをメンバーへ効率的に提供するということがいかに重大なことであるかを認識していました。PMASは用心深い財務管理に対し、絶え間なく変わり続ける市場の需要、複雑な規定の枠組み、及び収支を明確に示すといった要件を満たさねばならないのですが、PMASはこれらの目的の為にAISを使用しているのです。

レガシーシステムと近代技術の統合

PMASの2001年の戦略的レビューは、新製品の開発、IT技術及び人々へ投資を行う必要性を強化しました。当時、PMASの顧客と直接対面する部は、いまだグリーンスクリーン技術を使用していました。つまり、全てのデータはOpenVMS上のAdabasへ格納されていたのです。このメソッドは強靭でシンプルな使用感がありましたが、PMASはWindows環境で利用できる柔軟性の高い基盤とソフトウェア開発ツールへと移行する必要性を認識していました。ただ、完全に新規システムへと移植できない多くの理由があったのです。まず第一に、現体制が動き続けていたこと、そして第二に、システムは、ランクやメンバー区分、給与スケジュール、警察番号、その他の用途が警察の家族にとって有益に提供されるよう完全に構築されていたと、そして最後に、あらゆる新しいシステムに対し大きな障害があったのです。“営業担当者は、ちょうど過去にデータウェアハウスやデータやデータ検索及びデータマートを我々に販売しようとしていた時のように、最新のCRMやイーコマースやイービジネス、B2B製品を我々に販売しようとしていました。”Eaton氏は続けます。“これらのパッケージの多くは行き過ぎだと言えました。なぜなら我々が絶対に使用しないであろう特長を含んでしまっていたからです。我々の顧客が65万人であるのに対しそれらのパッケージのターゲットは6500万人の大規模スケールをターゲットにしていたのです。”

“私たちがVisual BasicとCOM目的語がどうAdabasかOpenVMSと対話するかに関していろいろ考慮してきましたが、Attunityという新規ソリューションに対する考慮は全く必要ありませんでした。

AISは導入に際し考慮することは全くなかったのです。厳しいデッドラインを乗り越える為に開発を行っている際に有益なソリューションを多く発見することははるかに状況を好転することになるでしょう”

Derek Eaton

**システム開発マネージャ
Police Mutual Assurance
Society Limited (PMAS)**

利点

- Eaton氏によれば、PMASが同じ仕事をするのにより少ない人数で会社をより迅速に経営していくことができるようになった
- 迅速な結果提示、迅速な新製品導入、顧客サービスの改良
- 同じ情報を違った形態で同時にアクセスすることにより、包括的な情報を得ることができるようになった。
- レガシーシステムの再利用や、スタッフのスキルを利用することによる、既存ITリソースの最大限の活用

それから、IT部門はレガシーデータの再利用と、ターミナルベースアプリケーションをWindowsアプリケーションへリプレイスする方法を模索し始めました。課題は、限られたITリソースの最大限の利用やレガシーシステムの再利用、ユーザの知識及びスキルの活用、そしてPMASにとって重要な指標である管理費用の低減とトータルな所有コストの保証などをいかに効率的に行うか、でした。

適切な統合方法の発見

統合するということは、データアクセスに対するWindowsフロントエンドと中間層を組み込むことを意味しました。その時点で、PMASはWindowsアプリケーション開発にSoftware AG社のNaturalというソフトウェアを使用していましたが、Eaton氏はプログラミングや開発環境管理に対し数多くの利便性の高いツールを提供するVisual Studioへの移行を提案しました。その決定によって、グループはミドルウェアを探し始めました。

タイトなITリソースを考慮し、Eaton氏は社内で構築するよりも製品を購入することを提案し、PMASはあらゆる選択肢を検討した結果、Attunityのトライアルを行うことを決めました。

Eaton氏はまた次のように述べています。“Attunityは我々の期待以上の製品でした。

Attunityが到着した2,3時間以内には、もう我々はデータにアクセスしたり更新したりしていたのです。自分たちが長い間求めてきたものがすぐに構築されるのを見ることができたのです。“私たちがVisual BasicとCOM目的語がどうAdabasかOpenVMSと対話するかに関していろいろ考慮してきましたが、Attunityという新規ソリューションに対する考慮は全く必要ありませんでした。AISは導入に際し考慮することは全くなかったのです。厳しいデッドラインを乗り越える為に開発を行っている際に有益なソリューションを多く発見することははるかに状況を好転することになるでしょう”

2001年5月にEaton氏はPMASの管理部門にAttunityを使用するコンセプトを提示しました。9月までには、ITグループは様々な選択肢をトライアルし、6週間Visual Basicでの開発に携わり、その後AISを導入しシステムを立ち上げ稼働していきました。最初のプロジェクトは顧客と直接対面する部がIEを通じてデータベースにアクセスすることを可能にしているインターネットソリューションでした。Eaton氏は自身の理論をこう説明しています。“我々の当初のゴールは技術の立証と、幹部社員に見せる為の迅速な結果を得ることでした。我々は管理者に対し、本当の利益の為に投資されたのだということを管理部門に示したかったのです。”それ以来、ITグループは古くて効率の悪いプロセスのリプレイスや、以前は利用できなかった機能を提供する5台のシステムを構築する為にAttunity Connectを使用しています。これらのシステムはユーザに対し、メンバーデータの閲覧、医療履歴や会社の業績に関するレポートの生成及びレポート閲覧、Adabasから新しい金融システムへのデータ移行、保険料支払いの問題を取り扱うといったことを提供できるようになりました。

統合の簡素化

データベースシステムマネージャであるChris Davis氏は次のように述べています。

“Attunity ConnectはOpenVMSプラットフォームの信頼性とセキュリティという功績を我々のWindowsソリューションの大部分に対してもたらしてくれました。Attunity Connectにより、あらゆる利点をもたらし、制限事項は発生しませんでした。今や、我々はAdabasとPCやウェブブラウザ間でのデータフェッチやパスを行う為に、回復力の高いWindows NTサーバを使用しています。AISはAdabasデータをADOを通じてサーバに提供しています。“AISはあたかも階層構造を平らかにせずAdabasが関係していたかのようにデータを提供するのは、”更にDavis氏は以下のように詳細に述べています。

“Attunityは、接続性という我々の当初の期待を果たし、更に現在行われている管理は最小限になりました。

そして、総所有コスト(TCO)は非常に低くなりました。

結果として、管理費用がガイドライン内でおさまっているのです、我々はメンバーに対する価値の追加作成に注力することができるようになりました。

良い時代、良いビジネス手法です。

今日の保険業界への金融逼迫という状況において、Attunity Connectは必要不可欠なものです”

Derek Eaton

システムマネージャ
Police Mutual Assurance
Society Limited (PMAS)

■お問合せ先

株式会社

ハイ・アベイラビリティ・システムズ

ソリューション&

コンサルティング事業部

〒108-0023

東京都港区芝浦4-13-23

MS芝浦ビル

Tel 03-5730-8870

Fax 03-5730-8619

inquiry_desk@ha-sys.co.jp

<http://sc.ha-sys.co.jp>



“ディスクリプター、スーパーディスクリプター、マルチフェッチ、ユーザ定義や音声インデックスのような、マルチバリューフィールドや、断続的なグループ、及びAdabasインデックス構造をAttunity Connectは扱うことができます。更には、デート及びタイムフィールドを適切に取り扱うことができるので、ユーザはそれらの上にまたインデックスをつけることができます。今までのところ私が見てきたものから、AISは我々の最も複雑な要件を満たすことができるだろうと悟りました。”

Davis氏はまた、Attunity ConnectのネイティブなAdabas導入の性能に対しこうも言っています。“AttunityConnectとてつもなく迅速です。AttunityConnectは自身で学習するので、最も早いアクセスを実現するという状況を効率的に産み出しているのです。”

加えて、Davis氏はAttunity ConnectがITグループに対し、時間を節約できたことについても評価しています。“AttunityConnectにより、Adabasデータベースから大量データを移行するのに1時間未満ですみました。もし我々がデータ移行を手動で行っていたとしたら、140ファイルも存在する中で、1ファイルあたりの1時間半はかかっていたことでしょう。我々は既存のAdabasデータ構造を全く変更する必要はありませんでした”

ROIの実証

Eaton氏によると、最も大きな利点は、ユーザが同時に複数ウィンドウで、同じ情報を異なる形態でアクセスすることができるようになった点だということです。例えば、ユーザが同時にメンバーデータを見ることができるようになったのです。これはPMASが何が起きているのかを、より包括的に知ることができるようになることを意味しています。

Eaton氏は他の利点についても以下のように述べています。精通したITスタッフの価値を最大化するだけでなく、我々は迅速に企業を運営したり、より少ない人数で同じ仕事をこなすことができるようになったのです。それは我々のメンバーに対し、更に大きな利点とよりよいサービスを提供することを意味しています。“サービスレベルの引き上げの功績により、PMASはPensions Protectionと、認定を実施する責任を負う独立機関であるInvestments Accreditation Board (PPIAB)から、Raising Standards quality markを受けた最初のアフィニティグループとなりました。同年、専門的な開発功績を認められ、British Computing Society Excellence Awardを受賞しました。

財団の未来

Eaton氏は次期プランについて次のように述べています。“我々はこれからもビジネスプロセスの拡張と合理化を続けていくつもりです。なぜなら容易にウェブフロントエンドを既存アプリケーションに追加することができるからです。また我々は他のAttunityアダプタによって、SQLのように他のデータベースからのデータを取り込むことができます。それは全く難しくなく我々の既存アーキテクチャ適合できるでしょう。”早急に結果を出す、という我々がすでに満足している管理部門の要求は第一のゴールではなかったことを忘れてください。AISはその場しのぎのソリューションではなく、戦略的投資そのものなので”

そしてEaton氏は以下のように結論づけています。

“即座の成功ではなく、我々がどうしていききたいのか、という長期的視点から、われわれはAttunity Connectの購入を決めました。